

SSKA

東腎協

2000年4月23日

No.132

東腎協第28回総会議案集

東京都腎臓病患者連絡協議会第27回総会

◆記念講演 透析合併症のメカニズムと新しい治療法への展望

講師：富田 敏男 先生（東海大学助教授）



東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）

事務局・〒

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail touzin@msj.biglobe.ne.jp

記念講演

「透析の自己管理と検査データ」 ～よりよい透析ライフを送るために～



講師 東京医科大学 教授 中尾 俊之
(腎臓科 科長 人工透析部 部長)

元気で長生きするために

私たちが元気で、長生きするために最も、大切なことはなんでしょうか。それは、充分な透析を行うことと、自己管理をキチンと行うことだと言われています。よりよい透析ライフを送るためにはまず、この2点は欠かせないことです。今回は、「透析の自己管理と検査データ」というテーマで東京医科大学教授の中尾先生に記念講演をお願いしました。

透析の自己管理は生涯にわたって、続けなければならないことです。この機会に、透析導入後間もない人も、10年、20年と長期に透析している人も、自分の自己管理と、生活習慣について、スタートラインに、ついたつもりで、みつめなおしてみてもいいでしょうか。

ぜひおでかけください

春もたけなわの日和、みなさん、いかがお過ごしでしょうか。今年も、桜がきれいに咲き、自分が生きている実感を持つことができます。

ご案内のとおり、東腎協第二八回総会を四月二三日(日)、総評会館において開催いたします。

新千年紀のスタートとなった、今年度は、東京都の「財政再建推進プラン」の第一年度となり、私たちの反対にもかかわらず医療、福祉などの見直しにより、所得制限や自己負担が導入されるなど、私たちには、困難な時代を迎えたと言わなければなりません。

また、四月からはじまる介護保険は、透析患者の高齢化に伴い、利用される方も増えます。各自治体窓口への取り組みも重要になってきます。

透析医療も診療報酬の改正により、ますます、厳しくなっています。透析医療のレベルを守り安心して暮らすため、医療スタッフとのコミュニケーションを大切にして、ともに、よりよい透析を築きたいと思えます。

会員のみなさんのより一層の団結で総会を成功させましょう。

何かと、ご多用とは思いますが、ご家族お誘いあわせの上、是非、お出かけください。

東腎協 会長 糸賀 久夫

一九九九年活動報告

一、はじめに

日本経済は一部回復傾向もあるものの、全体的には景気の停滞が続いています。東京都の財政もこのところ危機的狀態にあるといわれ、石原都知事は昨年七月二十九日、聖域なき見直しを掲げた「財政再建プラン」を発表しました。

この中には、これまで、私たちの生活を支えてきた心身障害者医療費の助成、各種の福祉手当、東京都医療費助成などの施策の大幅後退が含まれています。東腎協は、会員の「生命と暮らしを守る」ため、都議会請願や他団体とも協力して、医療・福祉施策の継続発展を要求して、せいじっばいの活動を展開してきました。

東腎協自身の問題としては、四月二五日開催の第二七回総会において規約の改正を行い、会費の値

二、主な活動と成果

上げ（四二〇〇円から五四〇〇円、全腎協会費を含む）を正式に決定しました。会費値上げの影響で会員数が減るのではないかと、この懸念も一部にありましたが、会員皆さんのご協力をいただき、会費の納入も順調に推移し、期末の会員数も昨年より一〇八人増の六、九五二人となっています。

一方、会活動の中心となる役員不足の問題は深刻です。今年もいくつかの会が役員不在のため、会の運営ができずに消滅してしまいました。会員の高齢化や透析の長期化は活動を鈍らせています。しかし、患者の絶対数は増えているわけです。元気で時間のある人は、ぜひとも会活動に協力いただきたいと思えます。

1、全国的な活動について

(1) 医療費について

医療保険制度の改正について厚生省は四月、高額療養費の上限額を引上げること（透析に関する高額療養費の特定疾病一万円は変わりません）や、定額払いとなっている老人保健の自己負担を原則として一割負担に変えることなどを柱とした「改悪案」を国会に提出することにしています。

また、今回の「改正案」では、かねてより全腎協が要望してきた国民健康保険加入者の海外療養費が実現する予定です。

診察報酬では、外来透析につい

ては、現在の処置料、生食、透析液、血液凝固阻止剤が包括された仕組みは変わらず、ダイアライザー、エリスロポエチンは引き下げられるのではないかと、この情報です。

老人保健の自己負担増は、私たちの医療費負担増につながります。東京都の心身障害者医療費は今年九月から老人保健に準拠した自己負担が導入される予定になっています。また、「定額払い方式」の拡大、薬代の一部自己負担化、高齢者の新保険制度移行などの医療制度改革案の動向も注視して行く必要があります。

(2) 脳死臓器移植の実施

臓器移植法が一九九七年一〇月に施行されて以来、初めての移植

が昨年二月下旬高知県の四〇代の女性を提供者として行われました。五月二日には、慶応大学病院で三〇代の男性、六月四日には三例目として、宮城県の二〇代の男性が脳死と判定され各臓器を提供しました。

さらに、六月二四日、大阪府立千里救命救急センターに入院していた五〇代の男性から脳死での臓器提供がありました。

九月初めには愛知県で、片耳の鼓膜が損傷していた患者の提供の申し出がありました。が、臓器移植法に基づく脳死判定基準の一部必要な検査が行えず、脳死判定を、厚生省が中止するよう指示したということがありました。

「目や耳の一部に損傷はあっても、臓器提供したい」という善意が生かれないのはおかしい」という意見もあって、厚生省では、どのような補助検査を行えば医学的に脳死と判定できるか、今後専門家に検討してもらいうことになりました。

これらの移植事例などを通じて、ドナーやレシビエントのプライバシーの問題や、脳死判定をめぐる規則や指針の違反など課題も浮か

び上がってきていますが、事例を重ねることでの問題の解決も見えてくることと思います。臓器提供には至らなかったものの、意思表示カードを所持して亡くなった人に関する情報も増えていることです。これまで私たちの運動が実りつつあると言ふ実感を感じ取ることができました。

(3) 兵庫県のB型

劇症肝炎で申し入れ

兵庫県古川市の透析施設で四人が劇症肝炎で死亡した事故で、全腎協は六月二日・三日の両日、原因の究明、調査結果の公表、感染防止対策の確立などを院長に申し入れました。

また、日本透析医学会、日本腎臓学会、日本肝臓学会の三学会と日本透析医学会、さらに厚生省にも申し入れを行いました。

一方、日本透析医学会は全国の会員施設に、厚生省作成の「ウィルス肝炎感染対策ガイドライン」を送付し、院内感染対策の徹底を指示しました。

「ぜんじんきょう」一七五号によれば、六月から七月にかけてさらに二人の患者が死亡したため、

六人の方が亡くなられたということです。

このような大きな院内感染事件を起こしたにもかかわらず、兵庫県の調査委員でも結局、原因、感染経路などは特定できず、また、その責任を取る者もいないまま、事実上の取束とされました。

全腎協によれば、他にも透析施設での肝炎ウイルスによる院内集団感染、あるいは院内集団感染が疑われる事例が相次いでいるといえます。

今回、同じような院内感染が続発していることに、私たち患者は日々の透析に不安を抱かざるを得ません。徹底的な原因の究明と公表、今後の感染対策の徹底を切に訴えらるとともに、自分自身の問題として、診療現場のチェックも強めていく必要があります。

(4) 国会請願運動に

ついで

岡県の七万四三七一人に次いで全国二番目の署名数でした。当日の行動には東腎協から一九人が参加しました。

JPCの「総合的難病対策の早期確立」を要望する国会請願行動は五月三十一日に行われ、全国からの代表百人が八万人分の署名簿を二百人の国会議員に請願書の紹介議員となつていただくよう要請しました。

以上の毎年行っている二つの請願署名のほか今年度は、臓器移植推進連絡会の「こどもの脳死移植の実現を求める請願署名」、JPCの「難病公費医療の患者負担撤廃と医療保険制度改悪反対国会請願署名」にも取り組みました。

また、毎年秋から取り組んでいる全腎協及びJPCの国会請願署名募金運動は、「心身障害者(児)医療費の助成ならびに心身障害者福祉手当など、障害者福祉施策の継続・発展を求むる」都議会請願を優先して取り進むことになりました。年明けからの取り組みとなりました。

全腎協の「腎疾患総合対策」の早期確立を要望する第二八次国会請願行動は昨年三月二五日行われ九万八五六二人の署名簿を二六三人の国会議員に提出しました。福東腎協分は五万二三八〇人で、福

2、東京都に対する

要請活動

(1) 予算要請活動に ついて

二〇〇〇年度東京都予算に関する要請は六月二四日、都庁会議室で行われ、東腎協から糸賀会長他一二人が参加しました。活動の多様化で、東京都への要望項目も年々増え、今年も午前九時三〇分から午後四時三〇分まで、びっしりと詰まったスケジュールで行われました。今年は、新知事の強力なリーダーシップのもと「財政再建」という命題を掲げ、私たちに与っては医療費の助成をはじめ、医療や福祉政策の後退に強い懸念を持って望みました。主な要望事項とそれに対する回答を報告いたします。

〔福祉局〕

〔要望〕医療保険改革後も、心身障害者（児）医療費助成制度を適用して、自己負担が生じないようにしてください。

〔回答〕二〇〇〇年度については、

国の事業に上乗せしている独自事業（マル障の医療費助成など）を中心に見直しをしていく。全体としては厳しい状況にある。

〔要望〕通院介助など介助・介護の必要を透析患者が利用できる対策を充実してください。

〔回答〕手帳を持っていれば、ホームヘルプサービスの中で対応している。

〔教育庁〕

〔要望〕児童・生徒に対する学校検尿による腎臓病の早期発見と、学内での予防と管理を徹底してください。

〔回答〕都立の学校では、尿検査が必須項目になっている。一次検査から三次検査まである。精密検査が必要になった児童生徒には、管理のため、腎臓病管理指導票を主治医が発行し、校医、家庭で、予防・管理に努めている。

〔労働経済局〕

〔要望〕透析患者が就職可能な雇用先を拡充してください。

〔回答〕一七か所の職安で、雇用先を透析患者さんについての事情を説明し、理解していただくよう

に取り組んでいる。昨年の腎機能障害者の就職数は七八人で、前年に比べ若干下がっている。

〔衛生局〕

〔要望〕腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立してください。

〔回答〕一九八八年以来、「腎臓病を考える集い」を、腎疾患総合対策の柱として開催している。

〔要望〕すべての都立病院に腎外来を設置し、外来透析及び夜間透析を実施・拡充してください。

〔回答〕腎臓病については、大久保病院と清瀬小児病院で対応している。他の病院での透析は、導入時と合併症に対応している。

〔要望〕鳥しょにおける透析は、看護婦・臨床工学技士などの医療スタッフの確保を図るとともに、逐次拡充してください。

〔回答〕神津島、大島、八丈島に次いで今年度一月には新島で開始する。今後とも実施計画があれば、補助の実施を検討していきたい。

〔要望〕糖尿病性腎症の透析患者を増やさなため、糖尿病の知識普及や予防・管理体制づくりを推進してください。

進んでください。

〔回答〕各区市町村の保健事業の中で健康教育、健康相談の場を設けている。その中で重点的に指導している。

〔総務局〕

〔要望〕東京都における身体障害者の雇用率を五パーセントに引き上げるとともに、年齢制限も引き上げてください。また、身体障害者別枠採用で腎機能障害者、とりわけ透析患者を採用してください。

〔回答〕一九八一年度から法定雇用率を達成するために努力してきている。現在法定雇用率は教員を含め二・三パーセントだが、当面三パーセントを目標に努力する。一九八八年度に透析患者を一名採用している。

〔要望〕透析施設間ネットワーク化や通院の確保など、地震等の災害時における緊急透析治療体制を早急に確立してください。

〔回答〕災害対策については、一九九八年発行の「地域防災計画」を基に運用している。透析患者についても一項目あり、広域医療についても入っている。「東京都震災予防計画」一九九九年二月発

表では、ネットワーク構築も盛り込まれている。

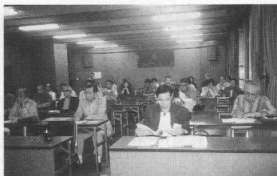
《高齢者施策推進室》

〔要望〕老人医療センター並びに多摩老人医療センター内に高齢者腎不全センターを設置していただきたい。

〔回答〕両老人医療センターは高齢者に対する急性期の高度専門医療を目的としているので、腎不全センターを設置する計画はない。

(2) 都議会に対する要請

一〇月七日、二〇〇〇年度東京



年金学習会 (99.5.23)

都予算に関する各党のヒヤリングが行われ、案内のあった共産党、公明党、民主党と懇談しました。また、案内のない自民党などには直接政調会事務局を訪ね要望書に基づき私たちの切実な願いについて要請しました。

(3) 心身障害者

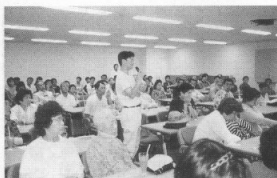
医療費助成制度を 守る運動について

東京都は昨年七月、財政状況が極めて厳しいとして「財政再建推進プラン」を発表しました。この中には、私たちのもっとも

重要な都の施策である心身障害者医療費の助成制度(通称・マル障)、心身障害者福祉手当制度が含まれていました。

特にマル障については、透析治療費無料化の拠り所となっており、二年前の青島都知事のと看にも見直されましたが、東腎協の行った都議会請願などの活動により、知事查定の段階で現制度の継続が決まった、という経緯があります。見直し内容も青島案とはほぼ等しく、老人保健に準拠した負担を求め、というものです。

東腎協ではこうした状況をバン



東部ブロック交流会 (99.7.25)

フレットや会報で会員の皆さんにお知らせすると同時に都庁要請、都議会請願、また、東腎協始まって以来の都庁盛り込み等の行動を繰り返して展開してきました。

また、障害者医療費の助成制度になぜ「老人保健に準拠した自己負担の導入」を求めたのか、強くその意味をたどしました。しかし、明快な回答もなく一二月二〇日、異例の速さで知事查定が行われ、福祉局要求に、住民税非課税者の一部負担を軽減して決定しました。これにより、「改正案」の内容は、住民税非課税者は入院時の食



区中南部交流会「学ぼう介護保険」

事療養費（一日七八〇円）を除き医療費を全額助成されることになりましたが、六五歳以上で新規に透析に導入された人や所得基準（扶養〇人の例で年取四九二万円）を超える人はマル障の対象外とされ、対象と認められた人も老人保健並みの自己負担が必要となりました。

一方、衛生局主管の透析に関わる医療費の助成（東京都医療費助成制度・通称マル都）の見直しでは当初の一割負担が一転、入院時の食事療養費は自己負担とされたものの、外来透析や透析に関わる入院については、全額助成されることになりました。

マル障やマル都について当初、福祉、衛生の両局が私たちへ示した見直し案は大変厳しい内容のものでした。東腎協では具体的な見直し案が出る前から、都の医療費助成制度への自己負担導入を危惧して、現制度の維持を訴え様々な活動を展開してきましたが、結局、透析医療費については、入院時の食事療養費を除き、マル障またはマル都を利用することで実質無料としたことは、一定の成果を得たものと評価できます。

東腎協では、二月三日に開催され、二〇〇〇年度予算案が討議されている都議会への働きかけをはじめ、今後も、あらゆる機会に初志貫徹を目指し活動を強化して行くことにしています。

(4) 都議会請願の実施

東腎協は、一昨年の青島都知事時代に行った都議会請願に続き、今回も私たち自身の生活を守るため、会員一丸となって「心身障害者（児）医療費の助成ならびに心身障害者福祉手当など、障害者福祉施策の継続・発展を求める」都議会請願に取り組んできました。

会員皆さんが自分自身の問題として積極的に取り組んでいただいたことで、署名数は一昨年の青島都知事ときの署名数を大きく上回る七三、七二二人（有効署名数七二、〇〇一人）に上りました。東京都議会局へは二月九日、第一次分として六七、〇〇四人（有効署名数六五、四六三人）分を、一月一には第二次分として六、七六八人（有効署名数六、五三八人）分の署名簿を提出しました。署名簿の提出に際しては紹介議員として、田中晃三議員他八人の都

議会議員のお世話になりました。

(5) 他団体との共闘

その他、東腎協では「東京都の福祉見直しに反対し、障害者施策を守り・発展させる会」に参加し、様々な活動に参加してきました。都議会請願の団体署名には各病院腎友会の協力を得て、八九件の署名を集めました。また、都知事あての個人要望書は三、七〇八人もなりました。また、一二月都議会に合わせた「怒りの座り込み」、二月都議会に向けた福祉施策の見直し反対、徹底審議を求める人間のくさり・座り込みにも役員・会員六〇人が参加しました。

(6) 島しょ透析について

昨年八月三十一日、大島腎友会の中島氏が来島。交通が不便なのでタクシーを利用しているが毎月五万円かかる。また、診療所では栄養指導が実施されていないので東腎協から町にお願いして欲しいとの要請があり、町長あて通院サービスの実施と栄養士の配置を要請しました。

3、介護保険について

四月施行の介護保険については、新聞紙上などを通して断片的な知識は入るものの、介護保険全体像を学ぶ機会はなかなかありません。そこで三月二十八日の全難連講演会「介護保険制度について」や、四月二四日の東京都障害者福祉会館主催の「介護保険学習会」に参加、また、七月二五日の区中南部、八月八日の区北部の交流会でも講師を呼び、学習を進めました。

機関誌「東腎協」二二九号では特集記事として介護保険を取り上げています。さらに、九月二日に幹事会後に開催した学習交流会でも「利用者からみた介護保険」と題する講演を東京都高齢者施策推進室の長谷課長補佐にお願いし、共に学習しました。

七月二日には、介護保険法の基本サービスマニュアルとなっていない「移送サービス」について、各区市町村長あての「要介護透析患者の通院に関する要望書」として発送しました。

今後、各区市町村へブロック単

位あるいは各病院腎友会単位での要請活動や、役員が在住している区市で要請活動を行う必要があります。

4、臓器移植推進 キャンペーン

昭和五六年九月、全腎協が第一回目の「腎バンク拡大全国いっせいかんぺいん」を開催してから今年で一九回目にあたる「臓器移植普及推進・全国街頭キャンペーン」が、昨年一〇月三日に全国各地三八〇カ所で開かれました。



青年部交流会移植勉強会 (99.8.1)

東腎協では、池袋駅東口、上野公園、新宿駅西口、立川駅の四ヶ所に会員・家族、ボランティア、東京肝臓友の会、ライオンズクラブなど二四二人が参加し、臓器提供意思表示カードとティッシュなどをセットにした配布セット一万五千組を配りました。

今年も、東京都の財政再建の影響で、キャンペーンの開催が危ぶまれていました。東腎協としては最後まで東京都との共催に望みを託していましたが、結局、これまでの東京都、医師会などの共催で行われてきたキャンペーンは開



北部ブロック「学ぼう介護保険」(99.8.8)

くことができませんでした。こうした関係で、準備の立ち上がりは遅れましたが、東腎協の四つのブロックが主体となって、警察への道路使用許可申請から、配布物の準備まで実施面を担当するなど、東腎協活動の今後にも大きな成果がありました。

5、会員交流会の 開催

個人会員を対象とした交流会は、一月二日南大塚社会教育館で開催され、会員・役員三〇人が参加

しました。その内、個人会員の参加が一六人と少なかったことは残念でした。

この会ではマル障改悪問題、介護保険にたいする運動など、東腎協活動の周知と同時に、病院腎友会の設立が大きなテーマでした。話し合いの中で、二ヶ所の病院の患者さんから患者会結成へ向けた発言があり、会の組織化に向け、今後の支援の方法などについても討議しました。

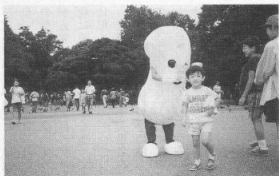
現在、東腎協の会員交流の場は、各ブロック活動の中で行われています。しかし、個人会員の場合は



地域腎友交流会 (99.8.22)



第43回幹事会 (99.9.12)



東部上野公園臓器移植キャンペーン (99.10.3)



区中南部新宿臓器移植キャンペーン



区北部池袋臓器移植キャンペーン



多摩部立川臓器移植キャンペーン

9、学習交流会につ
いて

が出席しました。また、病院腎友会からも各住区に腎友会設立を目指す会員が出席しました。会費や役員が東腎協と二重にあって負担が大きいことなど、多くの参考になる意見が出ました。これからも介護保険など区市町村主体の施策に対して、在住者が中心となって自分たちのために組織化を図っていくことが確認されました。

10、委員会活動につ
いて

本年度の学習交流会は、例年同様第一回目の幹事会終了後の九月二日、中野サンプラザにおいて行われました。今回のテーマは二〇〇〇年四月から実施される介護保険について、東京都高齢者施策推進室長谷課長補佐に講義をお願いしました。三〇頁にわたる詳細な資料を引用しての講演は、今後の活動に多めに参考となりました。

教宣委員会

年金学習会及び九月に行われた幹事会後の学習会の企画立案等を行いました。さらに、二五周年記念事業として作成した会員拡大パンフレットがすでに配り終えたことから現状にあわせ、一部内容を見直して、新たに五〇〇部作りました。

編集委員会
機関誌「東腎協」の年四回の定期発行を守りました。年度当初の総会議案集では、総会記念講演講師の紹介を掲載することができ、総会へ多数の参加者を得ることが

できました。「腎臓病を考える都民の集い報告集」は「集い」が開催されなかったため、編集できませんでした。

会員拡大・交流委員会
会員七千人の早期達成をめざして活動しました。会員拡大の対象としては、未だ患者会のない病院患者への訪問活動、個人会員を軸とした会員のグループ化、さらに、現在患者会がある病院の中には未加入患者の取り込みなどを考えています。今年度も拡大委員が都区部を中南部、東部、北部並

びに多摩部の四地区に分け地道に歩いています。委員自身の体調の善し悪しもあり、息の長い活動が必要です。個人会員のグループ化は折に触れ、人脈を辿って説得に努めています。

既患者会の未加入患者約二千八百人には各会の幹事の協力を得て、今年作成した「入会のしおり」と独自の入会チラシを作成、声かけ励行し、配布して貰うよう依頼中です。

また個人会員交流会を十一月開催しました。都の福祉行政改善について会長、事務局長が講演、自由討議では、会結成に意欲的な会員もいて、フォロワーをしっかりとれば会結成が期待されます。

災害対策委員会

震災はいつ起こるか分かりません。常に震災への対応を心がけていただきたい、との思いから委員会では六月、各透析施設における災害対策マニュアルの確認、離脱セットの取り扱いなど八項目の防災対策の確認をお願いした文書を各患者会へお送りしました。また、今年二月には昨年一月月に起きた自衛隊機の墜落による大停電

の透析に関わる影響についてアンケート調査を行いました。

11、青年部の活動に

ついて

東腎協では若い役員を育成するため、青年部の活動を重視しています。そのため、今年度予算からは青年交流会費として従来の交流会費から独立させ、予算化しました。

こうした期待に応え、青年部は今年度四回の交流会を開き、また、東腎協の活動にも積極的に参加してきました。

一回目の活動として六月二三日、東京タワーポールにおいてポウリング大会を実施しました。梅雨時の蒸し暑い日でしたが三九人がゲームを楽しみました。

八月一日には東京都障害者福祉会館において学習交流会「腎臓移植についての勉強会」を実施、東京医大八王子医療センターの出川先生などの医療関係者や移植の経験者も含め五六人が出席し、充実した学習会となりました。

二月一九日には、三回目の交流会を新宿・「花酒膳」で開催し

ました。親睦を深めるためグループに分け、ゲームを楽しみました。常任幹事も四人参加し、全体では四三人となり、大変盛り上がりました。

今年に入つて二月二七日には江戸川区民ホールで、マル障、福祉問題の近況について糸賀会長から説明を受け、透析患者が置かれて

いる厳しい環境を再認識しました。この会の参加者は三二人でした。

その他、八月二八日と二九日の二日間にわたり秋田県で開かれた全腎協主催の「全腎協青年交流 in 秋田」にも東腎協から三人が参加しました。また、九月一八日と一九日には神奈川県横浜市で関東プロック青年交流会が開かれ、東腎協から八人が参加しました。

12、機関誌「東腎協」

の発行

今年度は何よりも、マル障、福祉手当の改善反対が運動の要でした。迅速な広報が重要であるとの認識のもと、七月に発表された東京都の「財政再建推進プラン」に焦点を当て、一〇月号の一三〇号では「東京都の福祉が危ない透析患者を直撃する」と題して特集を組みました。一月は運動の正念場にあたり、一三一号で八ページに亘る特集を組みました。会員に役立つことと申します。また、選

取れ取り組んだ国会請願署名募金運動についても、その意義と患者会での努力、長年署名の整理に携わっている事務局の仕事に掲載しました。

五月号二二八号では「東腎協の活動の実際」と題して、似顔絵で事務局で働く人達の様子を伝えました。二二九号は第二七回総会での「透析合併症のメカニズムと新しい治療法への展望」という、宮田敏男先生の講演記録を掲載し、将来の透析医療の展望を開く希望を与えました。一〇月号からは浦和望星病院院長北岡建樹先生による「透析患者のための医学入門講座」頁上で「透析患者の自己管理」を掲載し、好評でした。

13、全腎協活動への

参加

今年度も東腎協からは、一ノ清、高橋南副会長と金子常任幹事が理事としての職務に、また糸賀会長

は東腎協代表として総会に参加するなど、引き続き積極的に活動してきました。

全国大会

全腎協は五月二十六日、京都において第三回目の全国大会を開催しました。参加者は約一八〇〇人で、広いホールが埋め尽くされました。東腎協からは糸賀会長ら常任幹事を中心に二一人が参加しました。今回は、患者・家族が安心して入院・入所できる施設を！働く場の拡大を！腎移植の普及を！との患者・家族三人の心からの「訴え」



豊島病院見学 (99.9.14)

が参加者の胸を打ち、強い共感を与えました。

また、今年の記念講演は名古屋大学医学部教授の前田先生の「人工透析で長生きするには」と題した講演が行われ、豊富な統計資料に基づいた説得力のある内容で、好評でした。

午後からは六つのテーマ別分科会が開かれ、東腎協常任幹事が各一人は出席して、報告書を作成しました。東腎協選出の全腎協理事は分科会の司会や担当理事として活動しました。

関東ブロック会議



都庁ヒアリング (99.10.7)

今年一回目（通算四五回目）の関東ブロック会議は昨年七月三日と四日、長野県佐久市の「サンピア佐久」で開かれ、東腎協から糸賀会長ら七人が参加しました。この会議では、年二回開催のうちに、

毎年二月開催分を担当していた東腎協の負担を軽減するため、次回より首都圏グループの持ち回り制とすることを決めました。

第四六回関東ブロック会議は昨年二月四日から五日にかけて、東京中野のサンプラザで開催されました。

第一日目に東腎協の総会でもお



個人交流会 (99.11.21)

願いした東海大学助教授の宮田敏男先生を再び招き、タイトルも同じ「透析合併症のメカニズムと新しい治療法の展望」と題する講演を行いました。

また、この日は久しぶりに全腎協の小林常務理事も出席し、透析医療の最新情報を解説しました。

議題では、障害者医療費助成事業の動向について、各県の状況を報告しあいました。東京からは、所得制限の強化や老人保健に準拠した個人負担が導入されようとしていることなど、厳しい環境を報告し、各県からも石原知事宛へ要



都庁座り込み参加 (99.12.1)

望書を提出してくれるようお願いしました。

14、がんばれ難病患者日本一周激励マラソンについて

国の「難病対策」は、一九七二年に制定されて以来年々充実され、現在、調査研究では一一八の疾病が指定され、医療費自己負担の解消では四四疾病が対象となつています。

しかし、一九九八年五月から、対策の目的の一つである「医療費の自己負担の解消」は大きく後退し、一部の重症患者を除いて医療費の患者負担が導入されました。今回企画された「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」は、こうした国の流れを変えよう、都道府県自治体の難病対策への認識を改めてもらおう、という主旨に基づくものです。

東腎協は、東京実行委員会に入り、この事業に協力することを決め、各患者会あて、寄付の募金と応援グッズ（絵葉書）の販売に取り組みました。寄付は二五万三五

一五円、グッズは一七患者会から注文がありました。

また、ランナー歓迎集会在九月二日に亀有駅前で開催され、東和病院腎友会、靖泉病院二一里友の会から役員、会員の参加を得て、花束を贈呈し、ランナーの澤本さんを激励しました。

さらに、九月四日にも京王線高尾山口駅で歓迎集会有り、東腎協から四人が参加、一月二六日の都庁・都民広場で開かれた都庁集会には二六人が参加しました。

15、事務局体制強化と財政対策

東腎協は一九九八年七月、豊島区目白の旧事務所から現在の大家に移転しました。これにより、発送作業と事務や来局接待などが同時に行えるようになりました。また、専従以外の役員の事務スペースも確保できるようになりました。今年度はこうした事務所を能力を生かし、活発な活動を行うことができました。

しかし、人的には専従体制は従来と変わらず、活動の多様化に現体制では能力の限界を超えていま

す。長期に安定して事務局の運営をできる人材の発掘が緊急の課題となつています。

東腎協の財政は、会員皆さんのご理解をいただき、今年度から会費を二〇〇円値上げさせていたが、年会費五四〇〇円（全腎協会費を含む）としました。また、会員の拡大にも例年同様に取り組んできました。

その結果、一般会計の予算規模は前年度に比べ三六〇万円余り増え、三八六〇万円となりました。この増額分は、総会費、青年部活動費、印刷費、事務所管理費などに充当しました。

事務所の移転拡大とともに、会費値上げのもうひとつの大きな理由となった、専従役員の一人増員が実現されれば、会費の値上げという一大事が完成されることになります。

16、他団体との連携

東難連

東京難病団体連絡協議会は、東腎協を含む一三団体が加盟している東京地域の難病団体で、東京都への要請活動や都からの委託事業

として医療相談会をそれぞれの難病患者に対し、実施しています。また、東腎協の副会長が会長を務めています。昨年から公費医療負担制度に、患者負担が出たことに對し、引き続き反対運動を行ってきました。都財政悪化に伴い、委託費の予算も削減され、厳しい状態が続いています。

東京・無年金障害者をなくす会
東腎協も代表を送っている「東京・無年金障害者をなくす会」は年金法の改正に向け、無年金障害者問題の解決を厚生省に要望すること、生活できる年金額への改善、日常生活の実態にあつた等級認定の改善などを訴えてきました。

障害者の生活と権利を守る都民連絡会（略称・障都連）
東京都の障害者施策の後退は私たち医療を必要とする透析患者のみならず、障害者全体の問題です。東腎協では独自に取り組んだ都議会請願等のほかに、障都連などとの共闘で、団体署名、都知事への手紙作戦、都庁座り込みなど、福祉施策後退阻止のため、必至の運動を展開してきました。

清瀬園施設オンブズマンへ参加
東京都では一九九八年度から心
身障害者施設を対象としたサービ
ス評価事業をはじめました。

この事業の一環として東京都清
瀬園の「サービスポイント調整委員
会」(通称：施設オンブズマン)
の当事者側の委員を東腎協から推
薦しました。

三、おわりに

今年度はマル障に始まり、マル
障に終わる、といった感の一年間
の活動でした。
また、私たちの「生命と暮らし
を守る」東腎協という患者団体の
実力が試された一年でもありまし

た。この面から東腎協の活動を、
会員皆さんはどのような評価をす
るのでしょうか。また、自分自身の
病院腎友会や東腎協との関わりに
についても考える機会としていただ
きたいと思います。

医療・福祉は今後も厳しい状況
が続くことが予想されます。今回
の東京都の施策の後退では、被害
を最小限にとどめることができま
したが、今後、高齢化や長期透析
の合併症など私たちの身体的な条
件が悪化していく中でも、患者会
活動はますます活発化が要求され
ます。

私たちの後に続く人のためにも、
いかにこれまでの活動を引きつい
て行くのか、皆が真剣に考えて行
く必要があるのではないでしょ
うか。



がんばれマラソン完走歓迎都庁集会 (99.11.26)



人間のくさり都庁包囲行動 (00.2.23)



青年部勉強会 (00.2.27)

1999年度決算報告書

(1998.3.1~2000.2.29)

単位：円

科 目	1998年度予算		1999年度予算		1999年度決算		達成率/執行率	備 考
	予算額	内訳	予算額	内訳	決算額	内訳		
収入の部								
会費	28,140,000		37,260,000		37,136,010		101.3%	期末6,952人
寄付金	500,000		500,000		836,623		167.1%	扶養品協会
雑収入	840,000		840,000		877,799		104.5%	広告代、印刷代、利子
小計	29,480,000		38,600,000		39,452,432		102.2%	
前年度繰越	2,093,103		0		0			
特別会計から繰入	3,450,647		0		0			
合計	33,023,750		38,600,000		39,452,432		102.2%	
支出の部								
総合費小計	2,490,000		2,690,000		2,670,048		99.3%	
総合費	1,000,000		1,300,000		1,335,836		102.8%	総会会場費、議事書、井当り、講師謝礼
役員会費	550,000		550,000		513,406		93.3%	幹事会、常任幹事会交通費、会場費
全幹会経歴費	690,000		590,000		695,356		117.9%	大会、開B会議、災害対策他
その他会議費	250,000		250,000		125,480		50.2%	三役会議、各委員会当日、交通費
交流会費小計	990,000		960,000		550,729		55.3%	各ワゾウ交流会費、会員交流会、学習交流会、青年交流会
青年部活動費	3,600,000		3,000,000		278,004			青年部交流会、全腎協、開B青年交流会
印刷費小計	2,800,000		3,900,000		2,558,292		87.8%	
会報費	800,000		1,000,000		867,398		88.2%	機関誌印刷代、編集委員会、取材費
その他印刷費	2,000,000		2,900,000		1,690,894		84.5%	印刷用紙、材料費、コピー代、封筒、名刺、年賀状他
役員活動費小計	1,000,000		1,300,000		2,113,480		162.6%	
事務所管理費	6,350,000		6,615,212		6,180,791		93.4%	
事務所管理費	3,240,000		3,460,212		3,460,212		100.0%	事務所賃料 月額28,351円
光熱費	500,000		385,000		275,714		71.6%	電気、ガス、水道料金
通信費	1,850,000		1,940,000		1,843,873		94.6%	機関誌発送費、切手代、電話代、
備用品費	520,000		520,000		396,742		76.3%	液晶モニター代、印刷機リ一次代他
事務用品費	140,000		200,000		130,850		65.4%	事務用消耗品
新聞図書費	100,000		100,000		73,400		73.4%	郵政新報、新日本法規他
人件費小計	8,342,000		8,534,000		8,183,290		94.8%	
給料	6,480,000		6,810,000		6,527,000		97.3%	事務局長、事務局長次長、事務局員給料・特別手当
退職積立金	432,000		454,000		454,000		100.0%	事務局長、事務局次長、事務局員
アルバイト料	1,040,000		990,000		749,990		75.8%	アルバイト手当、交通費
通勤交通費	390,000		380,000		352,300		92.7%	事務局3人分
諸会費小計	12,081,750		13,444,000		12,528,480		100.7%	
全腎協	12,080,000		12,420,000		12,504,600		100.7%	分相金
東経連	10,000		10,000		10,000		100.0%	分相金
協定協	11,750		14,000		13,880		99.1%	分相金
合計	170,000		158,230		185,099		117.0%	
子相費	0		0		0		97.6%	
特別会計医食	35,023,750		37,001,442		36,095,611			
総合計	35,023,750		38,600,000		37,694,189		97.7%	
次期繰越					1,758,253			

1999年度特別会計決算報告書

自1999年3月1日～至2000年2月29日

単位:円

	項目	金額	内訳	備考
収入の部	前期繰越	11,933,171		
	緊急手帳頒布代金	24,800		
	「ガイドブック」差益	278,600		
	「入会のしおり」補助金(全腎協より)	200,000		
	がんばれ難病患者マラソン還元金	132,250		
	小計	12,568,821		
	全腎協・JPC国会請願募金	2,832,565		
一般会計返戻金	1,598,558			
	合計	16,999,944		
支出の部	1. 「入会のしおり」印刷代	380,625		5,000部
	2. がんばれ難病患者マラソン	39,500		
	花束代、参加者補助		13,500	
	都民広場集会参加者補助		26,000	
	3. 都議会請願	180,070		
	署名用紙印刷代		78,750	15,000枚
	署名用紙発送代		51,820	
	署名用紙発送代(個人会員)		49,500	
	4. 国会請願	208,385		
	署名用紙発送代(個人会員)		54,000	
	署名用紙発送代(本年度分)		154,385	
	5. 臓器移植キャンペーン	813,464		
	道路使用許可申請代		13,987	
	配布用ティッシュ		186,000	単価9.30×20,000ヶ
	ゼッケン		84,000	単価280×300枚
	のぼり		40,000	単価4000×10本
	袋詰め及び梱包料		119,400	単価19900×6
	運搬料		20,000	単価5000×4
	消費税		22,470	
	人件費		59,330	カードセット、打合せ
	パネル代		7,224	
	参加者補助		227,000	1人1000円
	諸経費		34,053	弁当、ゴミ袋、フィルムなど
6. 福祉制度の継続・発展座り込み	94,057			
交通費補助		60,000	60人×1000円	
ゼッケン作成費		31,500	50枚	
雑費		2,557	ホカロン	
7. 返戻金	900		福生病院こでまり会	
	合計	1,717,001		
	次期繰越	15,282,943		

貸借対照表

2000.2.29

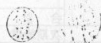
借 方		貸 方	
科 目 名	金 額	科 目 名	金 額
現金	430,256	一般会計剰余金	1,758,263
郵便振替	2,454,327	特別会計剰余金	15,282,943
普通預金(東京三菱銀行)	6,834,583	前受金	192,000
定期預金(東京三菱銀行)	7,500,000	退職給与積立金	3,932,000
定額貯金(南大塚郵便局)	3,932,000	特別会計の未処理分	△14,040
合 計	21,151,166	合 計	21,151,166



現預金残高明細書

2000.2.29

項 目	金 額	備 考
現金	430,256	手持ち有高
普通預金	6,834,583	東京三菱大塚支店 No.0925188
定期預金	7,500,000	同上 No.0925188
定額貯金	3,932,000	南大塚郵便局
郵便振替	2,454,327	00150-0-128390
合 計	21,151,166	



1999年度会計監査報告書


私たち監査は、東京都腎臓病患者連絡協議会の1999年度の決算報告書、すなわち現金、銀行預金、元帳、現金出納帳等について監査し、その結果、すべての経理処理手続きは公正、妥当と認められました。

2000年3月16日

会計監査

藤原栄一 

同

松下よう子 

備 品 等 一 覧

2000.2.29 現在

購入日	品 名	金 額	備 考
1977.10.26	レタースケール (6 kg)	5,600	
1978.5.16	事務机 SD-S65-3P 1台	15,000	
1978.5.16	事務椅子 CR25 1脚	8,000	
1981.7.17	折畳み椅子 FC318N 4脚	21,500	
1981.2.25	作業用テーブル FT-640 2台	58,800	
1981.2.25	耐火金庫 D-26	50,600	
1986.2.27	冷蔵庫 SJ8085G、書庫 S-2335	30,000	田沼事務所より下取り
1986.2.28	掃除機 TC-A90	24,400	
1986.4.11	ワープロ RICOH RIPOORT4600		5年リース解消
1986.5.12	事務椅子 KC170N 1脚	7,000	
1986.11.28	ホワイトボード	20,000	
1989.1.9	ファクス KONICAFAX110		寄贈品
1989.2.27	ワープロ RICOH RIPOORT5300		5年リース解消
1991.2.18	作業用テーブル FT-640 2台	80,000	
1993.5.25	コピー機 リコーFT4525	412,000	
1993.8.31	コクヨ書棚 2本	9,270	
1994.6.7	印刷機 VT2620	976,440	5年リース終了・廃棄
1994.9.30	ワープロ リコーNT-380	118,000	
1994.12.26	紙折り機 LF-300	92,700	
1995.2.28	シュッレダー リコー2211PT	103,000	
1995.5.8	ノート PC DynaBookSS450	329,600	
1995.5.31	手提金庫	10,400	
1995.6.2	ワープロ リコーNV-710	154,800	
1995.11.29	プリンターCANON LBP730	175,100	
1996.2.28	電動ホチキス	27,000	
1996.4.24	パソコン IBM Aptiva	366,680	
1996.4.30	事務椅子 4脚	85,000	
1996.7.8	卓上型梱包機	290,000	
1997.2.28	事務椅子 1脚	23,800	
1997.4.3	パソコン IBM PC340 NEC スキャナー NEC プリンター PICTY200		日本障害者リハビリテーシ ョン協会より貸与
1997.4.15	カメラ MINOLTA カピオス	19,800	

二〇〇〇年度活動方針(案)

新千年紀を迎えました。私たち透析患者を取り巻く環境は、大きく変わりつつあります。東京都は、美濃部都政時代から長年実績を積み上げてきた福祉施策を、財政再建の名のもとに、大幅に圧縮しようとしています。これまで透析医療費無料化の根拠となっていた心身障害者医療費助成については自己負担の導入が実施されようとしています。一方、透析患者は相変わらず増え続け日本透析医学会の調べでは、一九九八年末の透析患者数は一八万六千人を超え、その医療費は単純に計算しても、一兆円近くにはのぼります。厚生省は、こうした高額な透析医療費を絞り込んできます。一九九四年には技術料に透析液、血液凝固阻止剤、生理食塩水が包括されました。また、一九九七年には外来の医学管理料に心電図検査や、胸部レントゲン検査などが包括され、ダイアライザーの購入価格は二年に一度

の医療費改定のために引き下げられてきました。こうした、透析医療費の引き下げは、私たちが実際に医療を受けている現場に大きな影響を与えてきました。透析液の流量が下げられたり、血液凝固阻止剤がフラグミンからヘパリンに変わったり生理的食塩水などの補液の使い方が制限されたり、検査の回数が変わったり、さらには患者が増えているのにスタッフを増やしてくれない、もっとひどい場合は定員の削減までも行われている、という状況があります。このような流れの中で、私たちの活動の基本は「生命と暮らしを守る」ことであり「誰でも、安心して必要な医療がうけられる」ことです。昨年度、福祉施策の危機に直面して、「心身障害者医療費の助成ならびに心身障害者福祉手当など障害者福祉施策の継続・発展を求め」る都議会請願など一連の運動を通じ、私たちは結束の大切さ

を再認識しました。私たちを取り巻く状況はますます厳しく、一方、高齢化や長期透析の合併症など、私たち患者自身の身体状況も年々悪化しています。

医療の現場では、今後も医療費の引き下げが続けば、病院の合理化も進み、結果、医療の質の低下につながりかねない危険をはら

活動目標

- 1、腎臓病の研究・予防・治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立するため、運動をすすめます。
- 2、臓器移植意思表示カードの普及など、腎移植推進のための運動をすすめます。
- 3、医療、福祉の全国的な問題に關しては、全腎協とともに運動をすすめます。
- 4、腎臓病の知識普及のため、一腎臓病を考える都民の集い」など
- 5、要介護透析患者や合併症を持つ透析患者の対策についての運動をすすめます。
- 6、糖尿病からの透析患者対策についての運動をすすめます。
- 7、地震など災害時の緊急透析治療体制づくりについての運動をすすめます。
- 8、東難連と要望が一致する他の団体と連携・協力して医療と福

- 9、ブロック活動を活発にし、病院腎友会及び会員相互の交流を深めます。
- 10、地方分権化の推進に伴い、区市町村単位の患者会の結成に努めます。
- 11、介護保険制度で透析患者の移送サービスの実現をめざします。
- 12、青年部の活動を強化するため学習交流会などを開催します。
- 13、会員拡大を図り、次の総会まで七、五〇〇人を目標とします。

東京都及び都議会各党に対する陳情、要請活動

- 14、各腎友会の組織強化を図ります。
- 15、幹事・常任幹事を対象とした学習会を開きます。
- 16、機関誌「東腎協」の定期発行に努めます。さらに、速やかな情報伝達のために「とうじんきょうニュース」を必要に応じて発行します。
- 17、要望事項実現のため、都庁要請、都議会要請を行います。
- 18、今後ますます厳しさを増す医療情勢や、会員増、活動の多様化などに対応するため、事務局体制の強化を図ります。

I、医療体制の整備に関する要望

- 1、腎臓病の研究・予防・治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立すること。
- 2、腎移植普及のため、意思表示カードの配布や広報活動の強化

- 5、都立大久保病院については、夜間透析を拡充するとともに、成人の腎移植を早急に実施すること。
- 6、都立豊島病院については、糖尿病からの透析治療を含む腎不全センターを設置すること。
- 7、看護婦や臨床工学士などの医療スタッフを確保すること。
- 8、老人医療センター内に高齢者腎不全センターを設置すること。
- 9、多摩南部地域病院における透析治療は、導入透析や合併症に対応できる地域透析センターとして整備すること。
- 10、島しょにおける透析は、看護婦・臨床工学士などの医療スタッフの確保を図るとともに、逐次拡充すること。
- 11、乳幼児、児童、生徒、学生、勤労者、家庭婦人、自営業者などに対する検尿を完全実施し管理体制を確立すること。
- 12、小・中学生については、検尿に対する管理体制を徹底すること。
- 13、糖尿病性腎症の透析患者を増やさなため、糖尿病性腎症の

- 14 透析施設間ネットワーク化や通院の確保など、地震などの災害時における緊急透析治療体制を早急に確立すること。
- ### II、医療費、生活保障に関する要望
- 1、慢性腎炎患者の医療費を公費負担すること。
 - 2、内部障害者は、四級まで医療費を公費負担すること。
 - 3、心身障害者医療費助成制度や東京都医療費助成制度を改正前に戻すこと。
 - 4、心身障害者福祉手当を増額し、支給要件を改正前に戻すこと。
 - 5、児童扶養手当の認定基準に見られるような、内部障害と他の障害との差別を是正すること。
 - 6、障害者の旅費運賃割引制度の距離制限を廃止し、特急料金も割引対象とするよう国等へ働きかけること。
 - 7、障害者、難病患者に対し、民営バスの無料乗車券を発行すること。
 - 8、在宅の要介護透析患者が利用

できる福祉対策を充実すること。

9、第2障害者福祉会館の建設または既存の東京都施設内の会議室を障害者に開放すること。

10、東京都の職員に人工透析をしている障害者を採用すること。

11、腎機能障害者の雇用を促進すること。

12、「福祉のまちづくり」実施のため、その予算確保に最大限努力すること。

東京福又ひ福会各支店様

（以下は、東京福又ひ福会各支店様宛の挨拶文の抜粋）

（以下は、東京福又ひ福会各支店様宛の挨拶文の抜粋）

（以下は、東京福又ひ福会各支店様宛の挨拶文の抜粋）

（以下は、東京福又ひ福会各支店様宛の挨拶文の抜粋）

2000年度予算案

(2000.3.1~2001.2.28)

科目	1999年度予算		1999年度決算		2000年度予算案		99年列比	備考
	予算額	内訳	決算額	内訳	予算額	内訳		
収入の部								
全費	37,650,000		37,736,010		38,340,000		102.99%	総会費7,100人×5,400円
貸付金	500,000		838,623		500,000		100.00%	貸付金
雑収入	840,000		677,799		840,000		100.00%	広告代、印刷代、利子
小計	38,500,000		38,452,432		39,680,000		102.85%	
前期繰越	0		0		1,758,283			
特別会計から繰入	0		0		0			
合計	38,500,000		38,452,432		41,438,283		107.45%	
支出の部								
総会費小計	2,590,000		2,670,048		2,800,000		104.15%	総会費、議案書、弁当代、講師謝礼他
役員会費	1,300,000		1,335,836		1,400,000		107.74%	総会費
全費協同会費	550,000		513,406		550,000		100.00%	幹事会、常任幹事会交通費、会場費
その他会費	590,000		695,356		600,000		101.75%	大会20万円、開大会、開日会費村費他
その他会費	250,000		125,450		250,000		100.00%	三役会費、各委員会当、交通費
交流会費小計	960,000		530,729		1,050,000		109.48%	各80万円、地域費25万、会員15万円、学習12万円
青年部活動費	300,000		278,004		300,000		100.00%	全開、開日、東京青年交流
会費小計	2,900,000		2,558,292		4,000,000		137.95%	
印刷費					3,150,000			機関誌印刷代、編集委員会、教材費
編集費					150,000			
寄送料					700,000			
その他印刷費	1,000,000		867,398		1,000,000		100.00%	印刷用紙・材料費、コピー代、封筒、名刺他
役員活動費小計	1,300,000		2,113,480		2,100,000		161.55%	交通費、日当、食事代(800円→1000円)
事務用費小計	6,515,212		6,180,791		6,030,212		91.2%	
事務所管理費	3,460,212		3,460,212		3,460,212		100.00%	事務用資材28,351円×12ヶ月
光熱費、水道料金	385,000		275,714		300,000		77.9%	電気、ガス、水道料金
通信費	1,950,000		1,843,873		1,400,000		71.8%	切手代、電話代
備品費	520,000		396,742		520,000		100.00%	印刷機1台、文代他
事務用品費	200,000		130,850		200,000		100.00%	事務用消耗品
新聞図書費	100,000		73,400		150,000		150.00%	郵政新報、新日本法規他
人件費小計	8,534,000		8,183,290		8,834,000		103.03%	
給料	6,310,000		6,227,000		7,020,000		103.1%	1247,000+126,000+95,000)×15ヶ月 3%p
退職積立金	454,000		454,000		448,000		103.1%	事務局長、事務局長、事務局長
アルバイト料	990,000		748,990		1,026,000		103.6%	日当5000円(200円UP)+交通費(700円) 延々180日
通勤交通費	380,000		352,300		380,000		100.00%	
諸会費小計	12,444,000		12,528,480		12,805,000		102.9%	分担金7,100人×1,800円
全留返	12,420,000		12,504,600		12,780,000		102.9%	分担金
車庫運	10,000		10,000		10,000		100.00%	分担金
指定地	14,000		13,880		15,000		107.1%	分担金
雑費小計	158,230		185,099		209,051		132.1%	
合計	37,001,442		36,095,511		39,188,263			
子損費	0		0		0			
特別会計返戻金	1,598,558		1,598,558		0			
総合計	38,600,000		37,694,159		41,438,263			
本期へ繰越	1,758,283		1,758,283					

2000年度特別会計予算案

自2000年3月1日～至2001年2月28日

単位:円

	項 目	金 額	内 訳	備 考
収入の部	前期繰越	15,282,943		
	全腎協・JPC国会請願募金	1,250,000		前回並みとして
	合計	16,482,943		
支出の部	1. 腎臓病を考える都民の集い費	1,200,000		
	会場費		300,000	
	「報告集」印刷費		550,000	
	「報告集」発送費		70,000	
	「報告集」編集費		50,000	
	当日役員交通費、昼食代		60,000	
	講師・相談医謝礼		160,000	医師4人
	雑費		10,000	
	2. 臓器移植推進キャンペーン費	850,000		
	交通費補助など		300,000	
	宣伝資材		500,000	ティッシュ、セッケン他
予備費		50,000		
3. 緊急時透析患者手帳	100,000			
4. 会員カード	100,000			
5. 国会請願募金上納金	1,250,000		前回並み	
	合計	3,500,000		
	次期繰越	12,982,943		

脚注 2000年度全腎協およびJPCの国会請願署名・募金運動が行われる場合はそれに必要な経費は特別会計から支出し、納入された募金については、特別会計の収入とさせていただくことをご了承ください。

二〇〇〇年度スローガン(案)

- 一、腎臓病の予防、治療、研究から社会復帰にいたる腎疾患総合対策の確立を！
- 二、自己負担の増大につながる医療保険抜本改革に反対！
- 三、心身障害者医療費助成制度や東京都医療費助成制度の継続・発展を！
- 四、介護保険制度で、透析患者の移送サービスの実現を！
- 五、腎移植推進のため臓器提供意思表示カードの普及を！
- 六、働ける腎機能障害者に職場復帰の道を！
- 七、区市町村での医療・福祉の充実を！
- 八、地震などの災害時における緊急透析体制の早期確立を！
- 九、活動内容を充実し、すべての腎疾患患者の結集を！

総会宣言(案)

新千年紀を迎えた今年、東京都は、「財政再建推進プラン」の第一年度をスタートさせ、福祉も聖域にあらずと全面的な見直しを強行しました。昨年7月の「財政再建推進プラン」の発表、引き続き8月の「福祉施策の新たな展開」の発表と見直し攻撃を受け、東腎協では、石原知事宛の要望書「私の願い」や「心身障害者医療費助成・心身障害者福祉手当など障害者福祉施策の継続、発展を求める請願書」(署名数72001人)の取り組みを行いました。また、他の障害者団体と共に石原知事要請、各局要請、都議会各会派要請、「都民広場」での座り込み、「人間のくさり」都庁包囲行動に積極的に参加してきました。

しかし、残念ながら心身障害者医療費助成は、昭和49年の発足以来初めて所得制限の強化や自己負担の導入などの改悪が強行されました。また、心身障害者福祉手当も所得制限が強化され、多くの人を対象からはずされてしまいました。

唯一救いだったのは、衛生局の特殊疾病医療費助成の1割自己負担案が阻止され、入院時の食事代を除いて無料になったことです。

一方、医療保険制度の改正は、高齢者の医療費自己負担の引き上げ、高額療養費の限度額の引き上げなどが今通常国会に提出され、抜本改革は、先送りとなってしまいました。今月よりスタートしました介護保険では、各自治体の懸命な取り組みの中で介護サービスが行われておりますが、私たちは、透析患者の通院保障を求めて引き続き取り組んでいかなければなりません。

21世紀を来年にひかえ、福祉施策の転換がさげばれ、今まで基本とされてきた措置制度から「選択できる制度」へと福祉サービスの利用制度が変わってきます。東京都の福祉施策の後退をこれ以上許すことは出来ません。

東腎協は、都内の透析患者18000人の内、4割弱の7000人の組織です。透析患者の生命と暮らしを守るためにもっともっと仲間の輪を大きくしましょう。東腎協の存在すら知らない仲間もたくさんいると思います。患者会の押し売りでなく、お互いに理解し合い腎不全という共通の悩みを持つ仲間としての結びつきを深めることが大切です。

私たちは、東腎協にすべての腎臓病患者を結集し、都民と共によりよい透析医療をめざして、さらに運動を進めていきます。

2000年4月23日

東京都腎臓病患者連絡協議会 第28回総会

2000年度東腎協役員候補者名簿

2000/3/9 0:00

No.	役職名	氏名	会名	備考
1	会長	糸賀 久夫	松和患者会西新宿支部	○
2	副会長	一ノ清 明	東高円寺フェニックス会	○
3	副会長	小川 嗣雄	立川北口駅前腎友会	○
4	副会長	北爪 勇	湯島腎友会	
5	副会長	高橋 勇二郎	田端駅前クリニック	
6	副会長	原 三代吉	腎研友の会	○
7	副会長	藤原 実	嬉泉病院二一レ友の会	○
8	副会長	森田 廣明	森山病院友の会	○
9	副会長	柳 光夫	サポテン会	
10	副会長	渡辺 忠志	人工腎臓虎の門・高津会	○
11	事務局長	森 義昭	人工腎臓虎の門・高津会	○
12	事務局次長	小田原 庸吉	吉祥寺あさひ腎友会	○
13	事務局次長	木村 妙子	上野しのばず会	○
14	会計	井上 寧枝	吉祥寺あさひ腎友会	○
15	常任幹事	会津 一	個人会員	
16	常任幹事	生井 克子	阿佐谷すずき腎友会	○
17	常任幹事	今井 功	鶴田クリニック友の会	○
18	常任幹事	押山 大作	小池内科患者会小池会	○
19	常任幹事	小野 協子	東海病院ひまわり会	
20	常任幹事	金子 智	松和患者会目白支部	
21	常任幹事	軽部 和之	立川相互腎クリニック希望会	○
22	常任幹事	久保 正業	松和患者会西新宿支部	○
23	常任幹事	小泉 左内	杏林腎友会	
24	常任幹事	榊原 靖夫	高中腎友会	○
25	常任幹事	工藤 歩	貴友会王子病院友の会	○
26	常任幹事	佐々木 利喜栄	森山病院友の会	○
27	常任幹事	清水 国衛	新宿水明クリニック腎友会	○
28	常任幹事	田中 助成	聖路加二一レ会	
29	常任幹事	東野 榮夫	あけぼの友の会	○
30	常任幹事	納島 慶吉	新小岩クリニック友の会	○
31	常任幹事	星野 祐介	個人会員	
32	常任幹事	堀 和正	高中腎友会	○
33	常任幹事	山田 秀行	今尾医院腎友会	○
34	常任幹事	吉田 芳子	南大沢パオレ腎友会	○
1	会計監査	加藤 要	聖路加二一レ会	新
2	会計監査	松下 よう子	嬉泉病院二一レ友の会	
1	相談役	泉山 知威	すずらん腎友会	
1	幹事	矢田 暉子	愛和腎友会	○
2	幹事	澤上 敦雄	青山会	新
3	幹事	尾沼 敬三	あけぼの友の会	○
4	幹事	酒井 恒子	あけぼのクリニック友の会	新

5 幹事	佐藤 行成	飯田橋クリニック腎友会	○
6 幹事	斉藤 隆	板橋駅前板友会	
7 幹事	中山 正作	稲城市立病院腎友会	○
8 幹事	大久保 明雄	今尾医院腎友会	○
9 幹事	杉浦 健祐	入谷クリニック腎友会	
10 幹事	諸星 三郎	上野しのばず会	新
11 幹事	長谷川 悟	大田病院腎患者会	○
12 幹事	太田 慶彦	大橋クリニック友の会	
13 幹事	中野 秀雄	大山腎友会	
14 幹事	川島 行雄	小笠原クリニック友の会	○
15 幹事	近藤 守	織本病院腎友会	
16 幹事	荒巻 好美	菊川橋クリニック腎友会	
17 幹事	橋本 剛治	嬉泉病院ニ一友の会	○
18 幹事	吉田 悦男	北多摩病院腎友会	
19 幹事	土田 直次郎	北病院腎友会	
20 幹事	篠 喜代子	吉祥寺あさひ腎友会	新
21 幹事	長坂 希望	境南クリニック患者会	
22 幹事	伊藤 保雄	杏林腎友会	○
23 幹事	板尾 知章	くにたち桜会	新
24 幹事	中脇 賢蔵	薫風園腎友会	○
25 幹事	大伴 順子	江東橋腎友会	
26 幹事	澤登 昭子	国分寺こやま腎友会	○
27 幹事	星野 浩二	国分寺南口クリニック親光会	
28 幹事	中村 治兵衛	サボテン会	○
29 幹事	田中 克人	松和患者会西新宿支部	○
30 幹事	石川 一男	松和患者会目白支部	○
31 幹事	安部 克明	新小岩クリニック友の会	○
32 幹事	中原 好夫	新宿水明クリニック腎友会	○
33 幹事	加藤 明	新松山病院友の会	
34 幹事	関口 礼子	腎研友の会	○
35 幹事	高崎 豊彦	人工腎臓虎の門・高津会	○
36 幹事	油井 収	すずらん腎友会	
37 幹事	林田 洋子	聖蹟さくら会	○
38 幹事	大貫 利男	高中腎友会	○
39 幹事	山路 忠彦	高松病院患者会	
40 幹事	浅見 正治	竹口病院腎友会	○
41 幹事	下野 陽子	立川相互腎クリニック希望会	新
42 幹事	河内 亜登務	立花クリニック友の会	
43 幹事	宮本 保	昭島腎クリニックひまわり会	○
44 幹事	坂野 一寿	調布病院腎友会	
45 幹事	渡邊 靖	調布東山クリニック腎友会	○
46 幹事	工藤 孝一	月島サマリア腎友会	
47 幹事	猪狩 奈美枝	帝京大学病院腎友会	○
48 幹事	渡辺 精二	東海病院ひまわり会	
49 幹事	会沢 常謙	東京共済病院腎友会	
50 幹事	菅原 律子	東京厚生年金病院腎友会	
51 幹事	桐島 伸曠	東和病院腎友会	○
52 幹事	加藤 幸子	中野クリニック腎友会	

53	幹事	井沢 良雄	中目黒クリニック腎友会	
54	幹事	武藤 富美子	長久保クリニック腎友会	
55	幹事	竹川 和明	西新井病院腎友の会	○
56	幹事	阿部 寿彦	西池袋黎明会	
57	幹事	成田 美恵子	日仲駅前クリニック腎友会	
58	幹事	野口 美津枝	羽村相互診療所たんぼほの会	
59	幹事	十文字 七郎	秋葉原腎クリニック腎友会	○
60	幹事	吉田 喜代子	東高円寺フェニックス会	○
61	幹事	早坂 喜久江	聖橋クリニック腎友会	新
62	幹事	青木 義孝	福生病院こてまり会	○
63	幹事	武田 花子	豊生会	新
64	幹事	村上 ひろ	府中けやき会	
65	幹事	岩本 潤史朗	望星田無友の会	
66	幹事	浅岡 正義	保谷腎友会	
67	幹事	中根 亨	町谷原クリニック腎友会	
68	幹事	すみれ会	松村クリニックすみれ会	
69	幹事	鍛冶 可子	瑞江腎クリニック腎友会	
70	幹事	瀬賀 康平	三鷹北口クリニック腎友会	○
71	幹事	大栗 攻	南大沢パオレ腎友会	○
72	幹事	矢口 裕一	南千住病院河童会	
73	幹事	小堀 明人	南多摩病院のばら会	○
74	幹事	立石 寿意	桑の美会(明神町)	
75	幹事	井上 隆良	武蔵境駅前クリニック腎友会	
76	幹事	茂垣 長寿	村上医院ひまわり会	新
77	幹事	宗像 聡之	森山病院友の会	○
78	幹事	青木 智子	大和病院透析友の会	
79	幹事	腎友会	谷中三和クリニック腎友会	
80	幹事	北爪 勇	湯島腎友会	
81	幹事	芳賀 房夫	代々木病院腎友会	新
82	幹事	中川 喜太治	柳原健腎会	
83	幹事	山口 猛	天神橋クリニック腎友会	
84	幹事	中村 敏邦	十条腎和会	○
85	幹事	山本 もと子	小金井太陽病院サンフラワー	
86	幹事	中村 文子	立川北口駅前腎友会	○
87	幹事	篠田 喜代	貴友会王子病院友の会	新
88	幹事	鈴木 正雄	総愛診療所腎友会	
89	幹事	田中 新一	聖路加二ーレ会	
90	幹事	西村 竹俊	小豆沢病院透析友の会	○
91	幹事	清水正平	岩本町腎クリニック友の会	○
92	幹事	宮本 里子	牧田菊の会	
93	幹事	飯野 怜之	阿佐谷すすき腎友会	新
94	幹事	大久保 信二	博慈会腎クリニックあしたば会	
95	幹事	花澤 弘	深川橋クリニック腎友会	○
96	幹事	中嶋 仁司	大島腎友会	
97	幹事	奥田 悦子	小池内科患者会小池会	新
98	幹事	里山 保	三軒茶屋病院腎友会	○
99	幹事	渡辺 光子	山田クリニック	
100	幹事	中島 良明	長谷川病院腎友会	○

101	幹事	岩橋 勝子	鶴田クリニック友の会	○
102	幹事	藤田 亮一	みさと健腎会	新
	サテライト・タ-	和泉 和巳	人工腎臓虎の門・高津会	
	サテライト・タ-	菅原 八重	代々木病院腎友会	
	サテライト・タ-	道岡 勝人	人工腎臓虎の門・高津会	
	グループ・リダ-	丸山 みち子	青梅市立病院	
	グループ・リダ-	岡田 房子	さがみ循環器病院	
	グループ・リダ-	木村 兆子	すみれ腎友会	
	グループ・リダ-	久保田 由美子	東葛クリニック小岩	
	グループ・リダ-	石井・武田	西クリニック(武田G)	
	グループ・リダ-	島田 孝司	東村山診療所	
	グループ・リダ-	新山 筒子	西クリニック(新山G)	
	グループ・リダ-	田中 勝	福生加藤クリニック	
	グループ・リダ-	関師 リツ子	高尾駅前クリニック	
	グループ・リダ-	高橋 勇二郎	東京女子医大田端グループ	
	グループ・リダ-	大塚 栄子	八木内科	

一九九九年年度主な活動記録

99年3月

- 1 常任幹事会資料印刷・製本発送、署名・募金集計
あかつき印刷へ議案集原稿入稿
- 2 98年度決算作成
活動状況報告作成
関東ブロック会議録作成
（2人）
- 3 第228回常任幹事会（23人、他にオブザーバー5人）
「ぜんじんきょう」No172 発送（2人）
- 4 JPC国会請願署名全腎協へ送付（30380人）
- 5 特別会計予算案作成
- 6 全腎協総会（2人）
青年部会議（7人）
第42回幹事会資料作成・発送（2人）
- 7 東京都衛生局訪問（3人）
会計監査（3人）
幹事会議事進行打合せ（3人）
東難連運営委員会
第42回幹事会開催（常幹オブザーバー30人、幹事39人、グループ代表3人、オブザーバー21人、青年部3人、合計96人）
会員宛て入会申込み、発送業務
- 8 厚生大臣宛要請文作成（2人）
第28次国会請願行動（19人）
厚生大臣に要請文手交（3人）
板橋区野友会総会（6人）
全難連講演会「介護保険制度について」（3人）
声の会報「ぜんじんきょう」No172タビングと発送
総評会総会打合せのため訪問（4人）
「東腎協」No17・第27回総会議案集発送（2人）
- 9 東京医科歯科大学5年生の学生との体験交流（5人）
東難連運営委員会
第29回常任幹事会（27人）
第29回常任幹事会（27人）
総会メッセージ作成
・岡山、宮崎、石川、長野、大分、鳥取、の各県
- 10 第29回常任幹事会報告発送（3人）
今尾医院野友会総会出席
あけぼの友の会総会出席（2人）
江戸川野友会さつき会第7回総会出席（4人）
臓器移植連絡会・街頭署名運動参加（2人）
JPC健保改悪反対国会請願署名運動（4人）
年金学習会案内およびボスター作成・幹事宛て発送
千葉、佐賀、福井、宮城各県の総会へメッセージ発送、総会打ち合わせ（2人）
- 11 第27回総会開催（総評会）
第27回総会開催（総評会）
第27回総会開催（総評会）
第27回総会開催（総評会）
- 12 第27回総会来賓、祝電に
対しお礼状発送
茨城、栃木、北海道、広島、兵庫、香川の各県総会へメッセージ発送
- 13 1999年版規程集作成
教員委員会開催（6人）
三役会議開催（10人）
第230回常任幹事会開催（23人）
区中南部打合せ（7人）
区北部打合せ（6人）
「ぜんじんきょう」No173 発送（3人）
- 14 京都、群馬、高知の各県
総会へメッセージ発送
2000年度東京都予算
に関する要望書作成
2000年度東京都予算
要望書を医療福祉課へ提出、並びに特殊疾病対策
課（集い、キャンペーン
打合せ）、高齢者施策推進
室訪問（3人）
- 15 総会礼状各県あて作成・
発送（4人）
「東腎協」No178編集第1
次入稿あかつき印刷へ

99年5月

- 岐阜および埼玉の総会へ
メッセージ発送(2人)
- 15 全腎協大会および交
流会出席(21人)
- 17 奈良県総会へメッセージ
発送
- 20 富山県総会へメッセージ
発送
- 21 常任幹事会開催案内状発
送、個人会員会費納入の
お願い作成発送(3人)
- 23 年金学習会開催(37人)
- 23 上野しのはず会総会出席
(2人)
- 24 静岡、山梨、山形の各県
総会へメッセージ発送
- 25 都予算要請打合せ(5
人)
- 27 2000年度都予算要望
書提出 衛生局病院事業
部、労働経済局、教育庁、
高齢者施策推進室、総務
局人事部、同災害対策部
(5人)
- 28 建樹先生原稿依頼
愛知県、新潟県の総会へ
メッセージ発送
- 29 会員拡大委員会(9人)
- 30 編集委員会(6人)
- 31 新松山病院総会出席 糸
賀会長講話、テーマ介
護保険について
- 31 福島県総会へメッセージ
発送
- 31 JPC国会請願行動(4
人)
- 2 2000年度都予算要望
書提出 衛生局病院事業
部、労働経済局、教育庁、
高齢者施策推進室、総務
局人事部、同災害対策部
(5人)
- 5 教宣委員会(6人)
- 6 東難連運営委員会出席
第21回常任幹事会開催
(25人)
- 7 区東部常任幹事打合せ
(5人)
- 7 区北部常任幹事打合せ
(8人)
- 7 災害対策委員会(5人)
- 7 関東ブロック会議出席者
届を長野県腎協あて発
信、臓移植者名用紙募金
欄カット作業
- 8 臓移植国会請願署名お願
い文作成
- 11 東和病院腎友会新聞創刊
望会総会出席
- 11 東京、無年金をなくす会
99年度役員として渡辺常
任幹事を推薦
- 12 全腎協理事会(3
人)
- 13 青年部ボウリング大会
(39人)
- 14 多摩部幹事会(20人)
- 14 都庁災害対策部 防災計
画課稲石計画担当係長訪
問 広域震災対策につい
- 15 JPC日本一周激励マラ
ソン、東京実行委員会出席
(2人)
- 16 移植法改正国会請願署名
発送(2人)
- 17 各幹事及び施設宛災害対
策実施要請書作成(2
人)
- 17 介護保険移送サービスへ
の運動について打合せ
(3人)
- 18 区市町村役場名簿作成
- 19 関東ブロック災害対策推
進委員会開催(3人)
- 20 青年部打合せ(7人)
- 20 立川相互腎クリニック希
望会総会出席
- 21 関東ブロック災害対策推
進委員会会計報告発送
- 22 幹事および施設宛災害対
策実施要請書発送
- 24 JPC日本一周激励マラ
ソン都庁要請(2人)
- 24 東京都予算要請行動(13
人)
- 26 オペラ「脳死を超えて」
観劇(7人)
- 3 4 第45回関東ブロック
会議長野大会出席(7
人)
- 4 全難連総会出席(5人)
- 7 「ぜんじんきょう」No174
発送(4人)
- 7 会員拡大で4月新規開設
の江戸川循環器クリニッ
ク訪問(2人)
- 10 11 全腎協相談員研修会
(3人)
- 11 第22回常任幹事会開催
(20人)
- 12 区南部打合せ、区北部打
合せ、教宣打合せ
- 12 障害者福祉会館下期定期
利用申込み
- 12 「要介護透析患者の通院
に関する要望書」を各区
市町長宛発送
- 13 JPC日本一周激励マラ
ソン実行委員会(2人)
- 15 文京区役所広報課及び高
輪者福祉課介護保険担当
戸板氏と連絡
- 15 故鈴木啓市常任幹事の献
体されたお骨が帰宅した
ので、東腎協を代表して

99年6月

99年7月

- お焼香(4人)
東難連2000年度予算
に関する都庁要請(2
人)
- 18 青年部打合せ(4人)
19 JPC日本一周激励マラ
ソン活動費カンパと応援
グッズご協力をお願い文
・パンフレット・振替用
紙など発送(4人)
- 23 『東腎協』No.129発送(4
人)
- 25 区中南部学習交流会「学
ぼう介護保険」開催(42
人)
- 27 区東部講演会開催、講師
原茂子先生(97人)
王子病院後病院「東京社
会保険医療福祉センタ
ー」の件で泉山相談役来
局
- 29 教宣委員会(6人)
東京都広報番組について
共同テレビと打合せ(3
人)
- 1 編集委員会(10人)
区北部学習交流会「学ほ
う介護保険」(36人)
- 21 長谷川病院腎友会結成総
会
- 20 幹事会横断幕作成、個人
会員費納入状況入力
- 19 無年金障害者をなくす会
役員会
- 18 JPC日本一周激励マラ
ソングッズ発送(2人)
入会案内チラシ作成原稿
あかつき印刷へ入稿
- 19 99年9月
1 東部ブロック臓器移植キ
ャンペーンの道路許可申
請書の件で上野警察へ、
ボランティアの件で社会
福祉協議会来訪、および
- 22 地域腎友会交流会(31
人)
- 23 患者会会員数ワープロ入
力および署名集計表作成
2000年度東京都予
算要請報告作成
都衛生局古澤係長から腎
臓移植をチラシの件で問
い合わせ、資料送信
- 26 都庁交渉(2人)
- 28、29 全腎協青年交流in
秋田(3人)
- 30 新宿恒心クリニック会員
と話し合い、衛生局特殊
疾病対策課長中西好子氏
と99年度の「キャンペー
ン・集い」の中止につい
て面談、入会案内チラシ
校正であかつき印刷へ
大島腎友会幹事中西氏来
局
- 31 三役会議(10人)
- 2 署名整理
臓器移植キャンペーン案
内、ポスター作成(3人)
『東腎協』No.130編集、キ
ャンペーン用具購入
上期会計報告作成
キャンペーングッズ業者
「コサイエ」と打ち合わ
せ(3人)
- 3 無年金障害者をなくす
会
- 5 第33回常任幹事会(21
人)
- 7 臓器移植キャンペーンポ
スター、ブロック別案内
文、返信はがき作成・発
送 参加者票作成(5
人)
- 12 第43回幹事会(10人)
事務局へ(2人)
- 13 幹事会後整理備品等原状
復帰
- 14 復帰
「ぜんじんきょう」No.175
発送(4人)
- 16 都立豊島病院見学(8
人)
- 17 臓器移植キャンペーンで
厚生省記者クラブへ取材
・報道願ひ文作成全腎協
郵送
大島町長へ要請文作成
臓器移植キャンペーン意
思表示カードセット(5
人)
- 18 署名整理
臓器移植キャンペーン案
内、ポスター作成(3人)
『東腎協』No.130編集、キ
ャンペーン用具購入
上期会計報告作成
キャンペーングッズ業者
「コサイエ」と打ち合わ
せ(3人)
- 3 無年金障害者をなくす
会
- 5 第33回常任幹事会(21
人)
- 7 臓器移植キャンペーンポ
スター、ブロック別案内
文、返信はがき作成・発
送 参加者票作成(5
人)
- 12 第43回幹事会(10人)
事務局へ(2人)
- 13 幹事会後整理備品等原状
復帰
- 14 復帰
「ぜんじんきょう」No.175
発送(4人)
- 16 都立豊島病院見学(8
人)
- 17 臓器移植キャンペーンで
厚生省記者クラブへ取材
・報道願ひ文作成全腎協
郵送
大島町長へ要請文作成
臓器移植キャンペーン意
思表示カードセット(5
人)
- 19 無年金障害者をなくす会
役員会
- 20 幹事会横断幕作成、個人
会員費納入状況入力
- 21 長谷川病院腎友会結成総
会
- 22 地域腎友会交流会(31
人)
- 23 患者会会員数ワープロ入
力および署名集計表作成
2000年度東京都予
算要請報告作成
都衛生局古澤係長から腎
臓移植をチラシの件で問
い合わせ、資料送信
- 26 都庁交渉(2人)
- 28、29 全腎協青年交流in
秋田(3人)
- 30 新宿恒心クリニック会員
と話し合い、衛生局特殊
疾病対策課長中西好子氏
と99年度の「キャンペー
ン・集い」の中止につい
て面談、入会案内チラシ
校正であかつき印刷へ
大島腎友会幹事中西氏来
局
- 31 三役会議(10人)
- 2 署名整理
臓器移植キャンペーン案
内、ポスター作成(3人)
『東腎協』No.130編集、キ
ャンペーン用具購入
上期会計報告作成
キャンペーングッズ業者
「コサイエ」と打ち合わ
せ(3人)
- 3 無年金障害者をなくす
会
- 5 第33回常任幹事会(21
人)
- 7 臓器移植キャンペーンポ
スター、ブロック別案内
文、返信はがき作成・発
送 参加者票作成(5
人)
- 12 第43回幹事会(10人)
事務局へ(2人)
- 13 幹事会後整理備品等原状
復帰
- 14 復帰
「ぜんじんきょう」No.175
発送(4人)
- 16 都立豊島病院見学(8
人)
- 17 臓器移植キャンペーンで
厚生省記者クラブへ取材
・報道願ひ文作成全腎協
郵送
大島町長へ要請文作成
臓器移植キャンペーン意
思表示カードセット(5
人)

19 及び助役に要望書提出
編集委員会(7人)

20 無年金障害者をなくす会
大行動第1回実行委員会

21 東京肝臓友の会あてキヤ
ンペーン参加依頼文作成
・FAX
江戸川区議会傍聴、区长
面談(2人)

22 大塚台会員宛て再入会案
内文作成発送、都知事宛
要請文例作成

25 東難連神経系難病医療相
談会

25 全腎協理事研修会
(4人)

28 JPC日本一周激励マラ
ソン実行委員会(3人)

30 臓器移植キャンペーン実
施打ち合わせ(11人)

99年10月

3 臓器移植キャンペーン
各ブロックで開催・上
野、新宿、池袋、立川・
チラシセツト・1450
0配布(247人) 5 三役
会議(8人)

6 意思表示カードセツト袋
各依頼区腎友会へ発送・

7 都議会(公明党、共産党、
民進党)ヒアリング出席
及び他党派(自民党、無
所属クラブ、社民党、自
治市民'93、生活者ネッ
ト)へ要望書提出(6人)

10 東難連の都議会ヒアリン
グ出席(2人)

12 東京都清瀬園サービス点
検調整委員と利用者との
懇談会出席

12 第23回常任幹事会開催
(19人)

12 池袋警察へ意思表示カー
ド50部設置

14 故松本栄次さんご遺族、
故西木和子様ご遺族あて
寄付礼状作成

14 都議実行財政改革基本問
題特別委員会傍聴(2
人)

15 東難連自民党ヒアリング
及び激励マラソン東京実
行委員会出席(2人)

15 常任幹事会報告、介護保
険資料印刷、全腎協ブッ
クレット「糖尿病の予防
と管理」発送および意思

16 表示カードセツトを「板
橋区ともに生きる会」宛
発送(3人)

17 全腎協総会出席(3
人)

17 練馬区民祭りて意思表示
カード配布

18 介護保険の件で文京区役
所訪問

27 「東腎協」No.130発送準備
・正誤表扶み込み(3
人)

31 がんばれ難病患者激励マ
ラソンについて衛生局と
打ち合わせ及び記者クラ
ブ、各会派要請

99年11月

4 多摩部箱根バス旅行(45
人)

13 関東ブロック災害対策推
進委員会(3人)

14 「財政再建推進プラン」
「福祉施策の新たな展
開」に反対する学習交流
会(4人)

14 第25回常任幹事会開催
(21人)

16 虎の門・高津会結成30周
年記念祝賀会

16 「ぜんじんきょう」No.176
発送(3人)

16 吉田都議会議員(共産
党、衛生局医療費助成自
己負担導入の件で来局
)(4人)

19 医療費助成自己負担導入
の件で、衛生局訪問打ち
合わせ(6人)

19 無年金大行動参加(2
人)

21 個人会員交流会開催(30
人)

21 日本ALS東京支部設立
総会出席

22 マル障解説チラシ、患者
会あて発送

24 団体署名89枚と都知事あ
て要望文3704枚を障

1 福祉制度の継続・発展を
求める都庁座り込み参加
(9人)

25 都連あて発送
臓移植団会陳情参加(2
人)

25 都議会議員紹介議員要請
行動(2人)

25 ノーマネット・ホームペ
ージ作成講習会(2人)

25 都議会自治市民'93福祉敬
子議員に都議会請願署名
の紹介議員に

26 JPC日本一周激励マラ
ソン都庁集会参加(26
人)

27 厚生省集会参加(5人)

27 全腎協理事会

29 区中南部「屋形船」交流
会(34人)

29 東京都障害者団体連絡協
議会出席

29 障都連マル障・福祉手当
見直し改悪反対都議会各
党要請、都知事要請(4
人)

30 紹介議員依頼訪問、松本
文明氏(自民)

99年12月

1 福祉制度の継続・発展を
求める都庁座り込み参加
(9人)

- 2 「東腎協」No.131編集
清瀬園オンブズマン苦情相談
無年金障害者をなくす会
第2次大行動
4、5 第46回関東ブロック会議開催(17人)
5 講演会「腎臓病とともに」出席(2人)
7 望星田無友の会忘年会
土屋議員に紹介議員要請(2人)
9 「心身障害者(児)医療費の助成ならびに心身障害者福祉手当など、障害者福祉施策の継続・発展を求める」都議会請願署名簿(67,004名、紹介議員、代表田中晃三議員ほか8名)を議政局へ提出。
衛生局へ「透析患者の生命と暮らしを守るため、医療費公費負担(助成)制度の継続・発展を求める要望書」提出(6人)
12 第26回常任幹事会開催(20人)
13 東京都の福祉見直しに反対し、障害者施策を守り
- 14 発展させる会の福祉局、衛生局、高齢者施策推進室要請・交渉
14 石原都知事宛て要望書作成、関東ブロック各県へ参考としてファックス送信して都知事宛て直送を依頼(2人)
16 「東腎協」No.131編集あかつきへ入稿
16 会員拡大で高田馬場クリニック、新宿東クリニック訪問(2人)
東京都の福祉見直しに反対し、障害者施策を守り・発展させる会の座り込み(4人)
17 障害年金改正をすすめる会実行委員会
会費後期分未納の腎友会へ納入のお願い文発送
19 全難連主催の講演会「介護保険とこれからの医療・福祉をめぐって」医療法改正・医療保険の見直しにもふれて」出席
青年部交流会「花酒勝」にて開催(43人)
21 JPC日本一周激励マラソン、総会議出席(2)
- 24 福祉局、マル障、福祉手当要請(5人)
26 大掃除(7人)
27 マル障老人保健法改正で再検討
「ぜんじんきょう」発送準備
30 「東腎協」No.131編集(2人)
2000年1月
- 4 「東腎協」No.131編集(2人)
5 小林全腎協常務理事来局
6 三役会議開催(10人)
7 「ぜんじんきょう」No.177発送作業(2人)
11 都議会請願署名追加分(6,770人)提出及び都庁庁年始あいさつ(福祉局、衛生局、高齢者施策推進室、都議会各会派)前回提出分、東腎協のカウント67,004人は、都議会のカウントだと65,463人とのことだった。(5人)
12 国会請願募金署名発送(4人)
- 13 マル障・福祉手当見直し福祉局案説明パンフ、案内文作成・印刷・発送(3人)
15 障都連新年会
16 第27回常任幹事会開催(23人)
17 森田安孝議員(公明党)あて、都首脳への面会要請FAXを発信
21 障害者福祉会館上期定期利用申込み
27 会員拡大で東十条病院敬愛病院訪問
声の会報「ぜんじんきょう」No.177ダビング・発送
自衛待機墜落に伴う大規模停電の影響調査票作成、N.T.T災害用伝言ダイヤルシステムの案内作成
27 三役会議開催(11人)
清瀬園オンブズマン会議出席
28 年金大行動実行委員会
練馬区腎友あけはの会第2回総会(2人)
編集委員会(8人)
2000年2月
- 1 衛生局交渉(5人)
1 会員拡大パンフレット希望冊数調査書類・返信封筒等患者会宛発送(2人)
3 三役会議開催(10人)
5 会員拡大で南池袋診療所訪問
6 障害者福祉会館上期定期利用抽選会出席
6 区東部学習交流会(78人)
10 第33回障害者と家族の生活と権利を守る都民集会参加(2人)
13 第28回常任幹事会開催(21人)
16 国会請願署名用紙整理
都議会課長要請のため議長室秘書課長浦谷繁夫氏と打ち合わせ(2人)
17 関東ブロック会議報告作成
18 「准看護婦の養成を停止し、看護婦養成制度の一本化を求める」署名用紙発送(3人)
20 青年部打合せ(7人)
23 都庁座り込みと人間のくさり都庁包囲行動参加

(60人)

24 99年度活動報告作成、主な活動記録作成

25 無年金の会国会請願
国民福祉委員訪問

27 青年部学習交流会(32人)

28 無年金の会国会請願
国民福祉委員訪問

文書発言もできます

東腎協規約第六条で、総会に対して文書による発言も認められています。

なお、総会議案に対する意見のある方は、文書にして、四月二〇日(必着のこと)までに東腎協にお送り下さい。

〈送り先〉

〒171-0005 東京都豊島区南大塚2-38-1

一橋ゼミナール新本社ビル6F

東腎協事務局

1999年度都議会請願署名集計表

No	会名	署名数	No	会名	署名数	No	会名	署名数
1	聖和腎友会	980	41	松和患者会	1,470	81	福生病院でまわり会	846
2	青山会	100	42	松和患者会西新宿支部	720	82	豊生会	971
3	昭島腎クリニックひまわり会	1,489	43	腎研友の会	1,001	83	望星田無友の会	522
4	秋葉原腎クリニック腎友会	531	44	新小岩クリニック友の会	2,592	84	保谷腎友会	832
5	あけぼのクリニック友の会	742	45	人工腎臓虎の門・高津会	1,334	85	牧田腎の会	1,680
6	阿佐谷すずき腎友会	1,350	46	新宿水明クリニック友の会	1,69	86	町谷原クリニック腎友会	1,76
7	小豆田病院透析友の会	893	47	新山山病院友の会	506	87	松江クリニック腎友会	447
8	拓橋駅前拓友会	158	48	すずさん腎友会	820	88	三鷹北口クリニック腎友会	705
9	拓橋駅前拓友会	803	49	聖蹟さくら会	1,020	89	南大沢バオレ腎友会	972
10	稲城市立病院腎友会	170	50	聖愛病院二一七会	804	90	南千住病院河童会	361
11	今尾医院腎友会	231	51	聖愛病院二一七会	508	91	南千住病院河童会	20
12	人谷クリニック腎友会	795	52	高松腎友会	552	92	南多摩病院のぼら会	1,205
13	人谷クリニック腎友会	293	53	高松病院患者会	350	93	武蔵橋駅前クリニック腎友会	559
14	人谷クリニック腎友会	133	54	54竹口病院腎友会	552	94	村上医院ひまわり会	2,231
15	上野しのばす会	920	55	立川北口駅前腎友会	418	95	森山病院友の会	2,231
16	大島腎友会	200	56	立川相互腎クリニック希望会	1,150	96	谷中三和クリニック腎友会	142
17	大島腎友会	938	57	立花クリニック友の会	1,181	97	山田クリニック腎友会	1,133
18	大島腎友会	200	58	調布病院腎友会	631	98	大和病院透析友の会	221
19	大山腎友会	512	59	調布病院腎友会	1,017	99	山田クリニック腎友会	725
20	小笠原クリニック友の会	803	60	月島サマリア腎友会	618	100	湯島腎友会	130
21	榎木病院腎友会	132	61	鶴田クリニック友の会	101	101	代々木病院腎友会	967
22	新川橋クリニック腎友会	564	62	帝京大学病院腎友会	100		小計	67,141
23	堀泉病院二一七友の会	3,788	63	天神橋クリニック腎友会	832			
24	北多摩病院腎友会	1,058	64	東海病院ひまわり会	905			
25	北多摩病院腎友会	285	65	東京共済病院腎友会	119			
26	吉祥寺あさひ腎友会	1,671	66	東京厚生年金病院腎友会	1,407			
27	貴友会王子病院友の会	203	67	東和病院腎友会	799			
28	境南クリニック患者会	82	68	長久保クリニック腎友会	339			
29	杏林腎友会	460	69	中目黒クリニック腎友会	40			
30	くにおち援会	500	70	西新井病院腎友会	740			
31	桑の実会(明神町)	749	71	西新井病院腎友会	206			
32	小池内科患者会	362	72	日伸ビルクリニック腎友会	152			
33	小池内科患者会	829	73	博慈会腎クリニックあじはば会	80			
34	江東橋腎友会	172	74	長谷川病院腎友会	118			
35	小笠原大塚病院クリニック	975	75	長谷川病院腎友会	328			
36	国分寺南口クリニック親光会	630	76	羽村相互診療所たんぼほの会	921			
37	サボ子ソノ会	1,025	77	東高円寺クリニック腎友会	851			
38	三軒茶屋病院腎友会	913	78	聖橋クリニック腎友会	569			
39	三軒茶屋病院腎友会	913	79	深川橋クリニック腎友会	795			
40	三軒茶屋病院腎友会	913	80	府中けやき会	795			

障害者無視のマル障・福祉手当見直しに反対



東腎協

自分の医療と暮らしを守るために東腎協に加入を

東京都腎臓病患者連絡協議会 〒171-0005東京都豊島区南大塚2-38-1 一樓セミナー新本社ビル6階
TEL.03-3944-4048 FAX03-5940-9556